

- 2面 新春旗開き・新年の集い  
〈関西／名古屋／中・四国／九州関門〉
- 3面 練習船・日本丸が出航 〈関西〉  
漁師の仕事を知る授業 〈三崎〉

# 船員しんぶん

◆ホームページアドレス <http://www.jsu.or.jp> ◆Eメールアドレス [kaiin@jsu.or.jp](mailto:kaiin@jsu.or.jp)  
全日本海員組合発行第3076号 (昭和25年8月24日第三種郵便物認可)

2025年(令和7年)  
2月5日  
本紙は毎月5・15・25日発行  
〒106-0032 東京都港区  
六本木7丁目15番26号  
全日本海員組合本部  
発行人 齋藤 洋  
TEL 03-5410-8329  
FAX 03-5410-8337  
定価1部50円  
(組合員の購読料は組合費に含む)

## 新造船

株式会社商船三井さんふらわあ

# さんふらわあ かむい 就航

## 地球環境にやさしいLNG燃料フェリー

1月17日、大洗港フェリーターミナルにおいて、商船三井グループとして3隻目、北航路(大洗く苦小牧)では初となる新造LNG燃料フェリー「さんふらわあ かむい」の船内見学会および就航記念式典が開催され、本組合から田中伸一組合長代行、平岡英彦中央執行委員、高宮成昭関東地方支部長、荻山淳中央執行委員会企画室室長代行が出席し、組合員を激励した。



茨城県・大洗港～北海道・苫小牧港を結ぶ



左から高宮成昭関東地方支部長、田中伸一組合長代行、中野潤一郎船長、平岡英彦中央執行委員、横山祐貴職場委員

新造船「さんふらわあ かむい」はLNG燃料を使用することで、さらには、斜め向かい風を推進力に利用する丸型の船首形状であるISHIIN船型を採用したことなど最新鋭の技術を搭載したこと、

大洗く苦小牧航路に就航している既存船に比べCO2排出量の約35%削減することを実現した。また、モーターシフトを促進し「物流の2024年問題」の解決に努める思いから、船の大きさを既存船より大きくし、トラックの積載スペースを拡張するとともに、客室の全室個室化を図ったことでトラックドライバーが快適に過ごせる空間を提供している。一般旅客の客室としては1

人旅向けの「コンフォートSシングル」や、2人部屋で最大3人まで利用できる「コンフォートSツイン」が設けられた。さらには、ペットと旅行したい人のためにドックラックが設けられたほか、船旅を

ペットと一緒に過ごせる部屋「スーペリアウイズペットインサイド」が用意された。窓側の共用スペースにあるソファは、半個室をイメージしたデザインでコンセントがほぼすべてに設置されており、航行中の風景を楽しみながらくつろげるスペースとなっている。

船体デザインについては「さんふらわあ」の大きな特徴である太陽マークは残したうえで、これまでの白を基調とした船体とは異なり「かけがえない地球と海を守り、受け継いできた伝統と新たに切り開いていく未来をつなぎながら、人々の暮らしを明るく照らし続けていきます」としたコンセプトから「青」をアクセントカラーとして「夜明けの海」と「新しい時代を照らす光」を表現している。

また、船名の「さんふらわあ かむい」については、アイヌ語で「神、魂のような大いなる力」を意味する「カムイ」に由来し、伝統と未来をつなぎ美しい海を守るという願いが込められ命名された。

船内見学会終了後、場所を水戸プラザホテルに移し、就航記念式典が開催され、株式会社商船三井さんふらわあの牛奥博俊代表取締役社長執行役員は「本船はさまざまな技術革新を取り入れたほか、LNG燃料を採用することで環境に配慮した次世代の船である。当社は持続可能な事業の



牛奥博俊代表取締役社長執行役員



客室(シングル)



車両甲板



ペット同伴可能客室



船内見学会のようす

全国発信記事

関西  
地方支部  
= 発信

# 令和7年新春旗開き 200人が懇親を深める

1月10日の午後4時から関西西地方支部大会議室において、5年ぶりの新春旗開きを開催し、職場委員を含む現場組合員、全国海友婦人会、関係各社や関係議員など、約200人が集まった。

はじめに主催者を代表して浦隆幸関西西地方支部長から「全日本海員組合発祥の地で輝かしい年の初めを皆さまと祝う事ができ、心から感謝とお祝いを申し上げます。神戸の街は活気づいており、持続可能な成長を港町神戸から日本全国へ発信していきたい」とあいさつした。

続いて本組合を代表し松浦満晴組合長からあいさつがあり、その後、各来賓からの祝辞を終えて、司会者の音頭で会場全員の「よいしょ・よいしょ・よいしょ」のかけ声とともに鏡開きが行われた。



鏡開き



浦隆幸関西西地方支部長のあいさつ

松浦満晴組合長のあいさつ

乾杯の音頭は、現場組合員を代表し、阪神職場委員懇談会の神原将平会長(八馬汽船職場委員)が行い、参加者は

懇親を深めた。

中締めは、新丸菱海運の福本誠職場委員の音頭で一本締めが行われ、和やかな雰囲気の中、新春旗開きを終えた。

全国発信記事

名古屋  
支部  
= 発信

# 2025新年の集い 多くの組合員が親睦を深める



鏡開き



山原始名古屋支部長のあいさつ



田中伸一組合長代行のあいさつ



松本順一九州関門地方支部長のあいさつ

松浦満晴組合長のあいさつ

全国発信記事

九州関門  
地方支部  
= 発信

## 2025年九州関門地方支部旗開き

1月14日、北九州市門司区にある「門司倶楽部」において組合員・職場委員をはじめ、関係者など約100人が集まり、2025年九州関門地方支部旗開きを開催した。

はじめに主催者を代表し松本順一九州関門地方支部長が「海の平和が続いていくこと、船舶の安全運航を願うとともに、皆さまのご健勝・ご活躍を祈念したい」と新年のあいさつを行った。

続いて組織を代表し、松浦満晴組合長は「後継者確保は、あらゆる産業において喫緊の課題であり、人材確保競争が激化するなか、船の仕事を知ってもらい、船員の担い手を増やし、後世に伝え残していくことが大変重要で、産業界労働組合として、皆さまと共に一致団結して執行活動にまい進したい」とあいさつした。

次に各来賓のあいさつをいただき、乾杯の発声で歓談に移り、会場は歓声に包まれ、笑顔があふれる温かい雰囲気となった。

最後は住成信九州関門地方支部副支部長の九州一本締めで、現場組合員の安全航行と安全作業、活躍を祈念し、九州関門地方支部の旗開きを盛會裏に終えた。

全国発信記事

中・四国  
地方支部  
= 発信



除補修中・四国地方支部長のあいさつ

田中伸一組合長代行のあいさつ

1月14日、名古屋支部「新年の集い」を5年ぶりに開催し、現場組合員をはじめ、国會議員を含む各級議員、連合、会社関係者、海事関係者団体など約90人が参加した。

司会は関西西地方支部佐藤宗昭副支部長が務め、はじめに主催者代表として山原始名古屋支部長があいさつし、続いて組合を代表して田中伸一組合長代行が「本組合は後進育成のために全国各地で体験学習としての課外活動を行っており、浦都市、教育委員会から三谷水産高校と連携し、市内小学3年生を対象とした体験乗船を行い、非常に高い評価を得ることができ、次回は浦都市全校対象も視野に入れ、継続して取り組みたい」とあいさつした。

次に各来賓からの祝辞を

頂いた後、鏡開きが威勢よく行われ、太平洋フェリーの佐藤雄亮職場委員の音頭で乾杯し、歓談に移った。

懇親を深めた新春の集いは、あつという間に時間が経過し、中締めは、名鉄海上観光船の吉野彰吾船内委員長の三本締めで、一年の安全を祈願し盛會裏に終えた。



乾杯

## 中・四国地方支部 新春旗開き

1月15日、中・四国地方支部大会議室にて、5年ぶりとなる中・四国地方支部新春旗開きを開催した。旗開きには職場委員をはじめとする現場組合員と、組合政治参与、中国運輸局、関係団体、会社関係者など80人が参加した。

宮川悠馬中・四国地方支部次長の司会で開会し、主催者を代表して除補修中・四国地方支部長が「中・四国地区は、瀬戸内海を中心に外航・内航の航路拠点となっていることにより、島しょ部を巡る多くの旅客船が行き交い、海と船とは切っても切り離せない地域である。海運業界は課題が山積しているが、魅力ある職業として次世代へつなげていくために、皆さまの引き続きの力強いご支援ご協力をお願いしたい」とあいさつした。

次に本組合を代表して田中伸一組合長代行からのあいさつがあり、続いて各来賓からあいさつをいただいた。

続いて防予フェリーの棚田洋職場委員による乾杯の音頭で祝宴をスタートした。5年ぶりの新春旗開きに参加者全員が笑顔で歓談を楽しみ、最後に遊佐清和尾道支部長の中締めで、連帯と団結の旗開きを盛會裏に終えた。



冷たい雨が降る1月6日の午前中、神戸港に着岸中の練習船・日本丸で神戸市在住の小学4年生以上を対象に船内見学会が行われた。その後午後1時に日本丸の遠洋航海出航式典が開催され、多くの家族や関係者が見守る中、93人の実習生を乗せた練習船・日本丸が出帆した。

帆船の練習船・日本丸の遠洋航海出航式典には、本組合の浦隆幸関西地方支部長が来賓として出席した。この遠洋航海は富山高専専門学校、鳥羽商船高等専門学校、大島商船高等専門学校、広島商船高等専門学校、弓削商船高等専門学校、5校の実習生93人(男子実習生111人、女子実習生22人)が乗船し、一路シンガポールを目指し、その後東京港に帰港する予定。

練習船・日本丸  
シンガポールへ向け出航  
93人の生徒が遠洋航海へ

全国発信記事

関西  
地方支部  
= 発信



式典では国土交通省海事局長を始め、神戸運輸監理部長、その他関係者一同実習生へ向けた激励のメッセージを送り、続いて神戸観光親善大使から船長と機関長、そして実習生代表者へ花束が贈呈された。練習船・日本丸の屋野島船長は「厳しい航海が予想されるが、実習生たちを預かり、精神的にも技術的にも成長した姿で必ず帰ってくることを約束します」とあいさつした。

式典が終わると実習生は出航スタンバイの配置につき、銅鑼の音とともに、オールラインレック、タグラインがゆつくり引かれ離岸した。出航の際は実習生による登舷礼が行われ、岸壁から見送る家族は「きげんよう」の声でUW旗を振りながら安全



航海を見送った。遠洋航海に出発する実習生の姿は、期待に満ちあふれており、仲間と長い航海を乗り越え、チームワークを学び、優秀な船員となることが期待される。

神奈川県立海洋科学高等学校  
漁師の仕事を知る授業  
漁業ガイダンスに7人の生徒

全国発信記事

三崎支部  
= 発信



12月23日、神奈川県立海洋科学高等学校実習棟教室において、漁業ガイダンスが開催された。ガイダンスには、全日本海員組合、全国漁業就業者確保育成センターと、住吉漁業株式会社・大洋エーアンドエフ株式会社・共同船舶株式会社・焼津まぐろ漁業株式会社・株式会社長久丸・福一漁業株式会社・金沢漁業株式会社・7船主が参加し、神奈川県立海洋科学高等学校の本科1年生3人と2年生4人の計7人が出席した。

ガイダンスでは出席した生徒に対し、各社のブースにおいて約6分ずつ、漁業の種類や漁法、船内での生活や会社概要などについて、配布した資料の他、パソコンでの映像や授業中の動画を交えた説明が行われた。

出席した生徒は、真剣な表情で会社側の丁寧な説明を受け、将来漁船に乗りたい気持ちがあるかなどの意見交換が行われ、理解を深めた。

その後、全国漁業就業者確保育成センターの馬上敦子事務局長から、漁業ガイダンスの予定について告知があり、漁業ガイダンスを終了した。

12月23日、神奈川県立海洋科学高等学校実習棟教室において、漁業ガイダンスが開催された。ガイダンスには、全日本海員組合、全国漁業就業者確保育成センターと、住吉漁業株式会社・大洋エーアンドエフ株式会社・共同船舶株式会社・焼津まぐろ漁業株式会社・株式会社長久丸・福一漁業株式会社・金沢漁業株式会社・7船主が参加し、神奈川県立海洋科学高等学校の本科1年生3人と2年生4人の計7人が出席した。



情で会社側の丁寧な説明を受け、合からは「各社からの説明を受け、将来漁船に乗りたい気持ちがあるかなどの意見交換が行われ、理解を深めた。その後、全国漁業就業者確保育成センターの馬上敦子事務局長から、漁業ガイダンスの予定について告知があり、漁業ガイダンスを終了した。

五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先  
中央選挙委員会事務局(総務部)  
以上

2025年2月5日  
中央選挙委員会 議長 齋藤 洋  
第40期全国委員の資格喪失告示  
一、次の者は、規約第47条A項8号により、全国委員資格を喪失したので告示する。  
《企業区・企業単位》  
089 尾道・水島地区沿海 長友 孝展  
第40期全国委員・補充選挙の告示  
規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第40期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示する。  
一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員  
《選挙単位コード・単位名》  
企業単位 089 尾道・水島地区沿海 1名  
二、補充選挙の実施日程  
立候補届出期間 2025年2月5日より  
2025年2月14日まで  
候補者告示 2025年2月15日より  
投票期間 2025年2月15日より  
2025年3月14日まで  
当選人告示 2025年3月15日(予定)  
三、補充選挙の被選挙人  
(一) 企業区  
全国委員選挙規則第25条B項により、補充選挙告示日に補充選挙を行う企業単位に所属する完全資格組合員とする。  
四、立候補の届け出  
立候補をする者は、全国委員選挙規則付表の一に定める様式に基づき立候補届を担当地区選挙委員会へ提出すること。  
五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先  
中央選挙委員会事務局(総務部)  
以上



関東地方支部



高宮成昭関東地方支部長のあいさつ

1月14日16時から関東地方支部において、合同職場委員連絡会議を開催し、地区闘争準備委員会の設置を確認するとともに、令和7年度労働協約改定闘争に向けた大衆討議訪船や現場集会など、一致団結して取り組むことを確認した。

はじめに高宮成昭関東地方支部長からあいさつが述べられた後、3月1日付で地区闘争委員会が設置されるまでの間、高宮関東地方支部長を委員長とする地区闘争準備委員会設置を確認したうえで、第1回地区闘争準備委員会が行われた。

地区闘争準備委員会では、執行部が訪船活動と内容について取りまとめ、準備委員会において報告のうえ共通認識を図ること、また「ちんぷん



および「トビックス」の発行、スローガンの応募・選定することなどを確認した。

続いて、今後の組織内会議などの日程を確認するとともに、大衆討議訪船における注意事項などについて意見交換を行い、共通認識を図った。

最後に、令和7年度労働協約改定闘争に向け、執行部と職場委員、現場組合員が一致団結して取り組んで行くことを確認し、終了した。

海員春闘・大衆討議

# 関東地区 闘争準備委員会設置

全国発信記事

関東地方支部 = 発信



アマポーラ宗谷



羽幌沿海フェリー

海員春闘・大衆討議

# ハートランドフェリー / 羽幌沿海フェリー 意見集約

全国発信記事

道北支部 = 発信

1月9日、宗谷地方の暴風雪警報により、稚内港発のハートランドフェリーは全便欠航となった。この日は業務を妨げないよう、係船中の「アマポーラ宗谷」でハートランドフェリーの組合員に大衆討議を行い、要求案に対する意見集約を図った。

執行部からは今年度労働協約改定にあたり、要求案の説明を行い、現場組合員からは▽役職者の職務手当の改善▽海技免状受有者で未昇格の者へ手当新設▽機関部員の処遇改善を求める▽ホテル宿泊費高騰の対策および日当金額引上げなど。その他では、▽年金支給開始年齢以降の再雇用について協議してもいいのではないかの発言があった。

1月11日、羽幌沿海フェリー



ハートランドフェリー

「ハートランドフェリー」大衆討議

1月9日、宗谷地方の暴風雪警報により、稚内港発のハートランドフェリーは全便欠航となった。この日は業務を妨げないよう、係船中の「アマポーラ宗谷」でハートランドフェリーの組合員に大衆討議を行い、要求案に対する意見集約を図った。

執行部からは今年度労働協約改定にあたり、要求案の説明を行い、現場組合員からは▽役職者の職務手当の改善▽海技免状受有者で未昇格の者へ手当新設▽機関部員の処遇改善を求める▽ホテル宿泊費高騰の対策および日当金額引上げなど。その他では、▽年金支給開始年齢以降の再雇用について協議してもいいのではないかの発言があった。

1月11日、羽幌沿海フェリー

海員春闘・大衆討議

# 道東観光開発株式会社 おーろら・おーろら3 陸上組合員

全国発信記事

道東支部 = 発信



おーろら

北海道・網走流水観光砕氷船の連航シーズンに入った1月23日、道東観光開発株式会社の現場組合員と2025年度労働協約改定要求案の大衆討議を行った。

海上部門は「おーろら」で開催し、当日乗船勤務の組合員へ中央要求案の旅客船部門を説明し、意見交換を行った。現場からは▽賃金制度の第1欄と第2欄の違いについて一質問があり理解を深めた。

その後、個別要求案を説明し、現場からは▽旅客船モデル協約の基本給に追い付いていない状況もありベースアップしてほしい▽ガソリン代が高騰しており通勤補助費の改定してほしい▽食料金は中央に準じているが地域によっては食料が高いため増額加算を求めているなどの意見を



おーろら3

があり、最終的に検討を続け2月28日に要求することを確認した。

陸上部門は海上部門の基本給改定アップ額と同額のベースアップ要求することを確認し、手当の回復要求、通勤補助費と食料補助費は海上部門に足並みをそろえ要求することを確認した。